

# 令和5年度 つくばみらい市立谷和原中学校 グランドデザイン



**校訓**

**高めあい 助けあい 鍛えあい**

- 本県教育の目標
  - ・ひとりひとりの能力を開発し  
豊かな人間性をつちかう
  - ・じょうぶな身体をつくり  
たくましい心を養う
  - ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる
- いばらき教育プラン  
(茨城県総合計画より)
- 基本理念  
『活力があり、県民が日本一幸せな県』
- Ⅲ 新しい人材育成  
茨城県の未来をつくる「人財」を育て、  
日本一子どもを産み育てやすい県を目指す

- つくばみらい市教育大綱
  - 1 自分の可能性に挑戦する学力を育てる
    - 幼児期からの一貫した質の高い教育推進P
    - チャレンジする子どもの学力を高めるP
  - 2 たくましく生きる強い心と体を育てる
    - 悩みや不安に寄り添い支えるP
    - “みらい”につなげる学びP
  - 3 新しい時代の教育を支える環境を創る
    - より良い教育環境を目指すP
    - すべての人にやさしく安全を高めるP
- ※ Pは「プロジェクト」の略



**学校教育目標「高めあい 助けあい 鍛えあう 生徒の育成」**

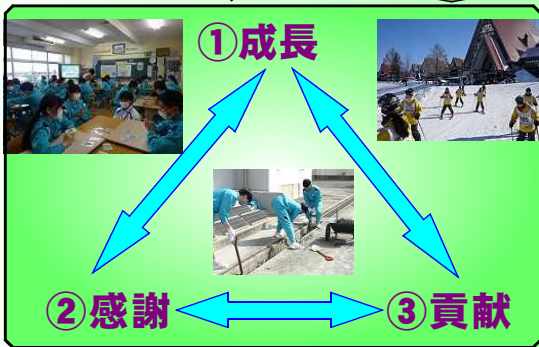
**本年度組織目標** ・「授業で分かる」「授業でできるようになる」生徒の育成  
・主体的に他と関わり自己有用感をもつ生徒の育成

<本年度の経営の重点> (※は評価指標)

一生徒も教師も「成長」「感謝」「貢献」を合い言葉に！

## ① 成長

- 「授業で分かる」「授業でできるようになる」実感のある授業  
正解→最適解の時代へ、学習課題の吟味、振り返り、学び合い、  
メタ認知、批判的思考(Critical Thinking)、  
思考の可視化(Ai GROW・思考ツール)  
※分かりやすい授業(生徒・保護者)90%以上  
※思考力・判断力・表現力の伸長(生徒・保護者)80%以上  
※体力テストA+B 65%以上
- 特別活動、学級経営、部活動などにおける「活躍の場」の設定  
体験の重要性(学校行事)、集団への貢献  
リーダーの価値、リーダーを支える立場の価値  
※学校行事への主体的な取組(生徒)80%以上  
※部活動への積極的な取組(参加生徒)90%以上
- 小中一貫教育の推進  
生徒自身が自分の活動や経験、考え方の価値に気付く  
※目的を明確にした取組(教師)90%以上  
※自己有用感の向上(参加生徒)80%以上
- 様々な個性をもつ生徒が「成長を実感」  
安心して参加できる授業、活動(Universal Design)  
※ユニバーサルデザインを意識した取組(教師)90%以上



## ② 感謝

- どんな些細なことにも「ありがとう」
- 気持ちを込めた「ありがとう」
- 生きていることに「ありがとう」
- ※気持ちを込めたあいさつ  
(生徒・保護者)80%以上  
※気持ちを込めたあいさつ(教師)100%  
※友達を大切にしている(生徒)90%以上

## ③ 貢献

- 主体的な貢献・・・わたしが他者に何をできるか考え、実践する
- 貢献感・・・「わたしは存在しているだけで集団にとって有益であり、役立っている」と主観的に感じる
- 勇気付け・・・人は感謝の言葉「ありがとう」を聞いたとき、「自分には価値がある」と実感できる  
→自分に価値があると思えたとき、自らの課題に立ち向かえる  
※自分にはよいところがある(生徒)80%以上 ※生徒のよさを意識し価値付ける指導(教師)100%

「学校は、社会でよりよく生きるための準備をする場である」  
～本校に関わる全ての人の幸せ(well-being)のために～

- 目指す生徒の姿 自己有用感もち 目標に向けた努力ができる生徒
- 目指す教師の姿 自らの仕事に誇りもち 支え合い協働できる教師  
(働き方改革の推進 ※各月の超過在校等時間80時間以内100%、60時間以内80%以上)
- 目指す学校の姿 教育活動が開かれ、関わる人々が幸せ(well-being)になる学校

令和5年度研究主題・・・「**主体的な学びに向かう力を育て、一人一人の自己実現に結び付ける指導の在り方**」